

ブータン便り

vol.5

怒涛の10月が終わりました！

気付けばオイルヒーターが必要な季節に。。。。

寒さと乾燥との戦いが始まりました。

The Royal Highlander Festivalに参加!!

標高3800m Gasa県Layaで行われた高地民族のお祭りに行きました。メンバーは協力隊員計7名！首都から片道7時間の車移動+登山口から5時間のトレッキングで、計4日間の行程でした。

JICA事務所にて
事前研修

標高3800mはブータン国内だと標高はそれほど高くない山といえます。しかし今回は宿泊も伴うことから、JICA事務所にて安全対策講座を受けガモウバッグ*や衛星電話の使い方を教えてもらいました。

*膨らませると内部が高圧に変化する高山病対策グッズ



Gasa県のファームハウスで1泊。

ここから3泊4日風呂なし生活の始まりです。

旅行で風呂なしは慣れたけど、、、せめて顔はお湯で洗いたい。ということで

寒空の下、ポットに熱湯を汲み、水で薄めながら洗顔しました。皆さすがは協力隊員、という適応能力です。



Gasa県へ移動

8:30からトレッキングを開始。

荷物はポーターに預けており、急登も多くはないのですが、標高が上がるにつれて体の動きが鈍くなっていくのを感じます。

普段標高2200mで生活しているといえどやはり私は平地民族なのか…と気付かされました。

お祭りの会場(標高4000m)ではチベット原産の犬とヤクの品評会、徒競走、県別枕投げ大会等の催しが行われていました。今回は第6回とまだ新しいお祭りですが貴重な文化と伝統を体感でき大満足。

今回のGasa県が12県目の訪問となりました。

トレッキング
&
Layaでの
お祭り参加



高地民族(ラヤッパとリンシ)との記念写真

最近の活動について

10月は大使館やJICA主催のイベントが開催され、他の協力隊員と連携する機会が多くありました。普段とまた違う活動で気持ちもリフレッシュできたので、まとめてご紹介します！

■協力隊ブータン派遣35周年式典

1988年にブータンへ協力隊派遣が開始してから、今年で35周年という事で記念式典が開催されました。式典には国王や首相、各配属先のメンバーに参加頂きました。派遣前に友人達にブータン行く、と伝えた際に最も多かった反応は「あの素敵な国王のいる国でしょ？」だったこともあり2年の任期の間にお目にかかれたいいな、と願っていたのですがこのタイミングでお会いでき感激しました。

式典の様子は、新聞や王室のFacebookで伝えられ同僚や顔なじみの店員さんからも多くの反応をもらいました。



ちなみに、、、2011年に国王が日本を訪問された際の国会演説を久しぶりに観てみました。ブータンにいる状況だと情景がより鮮明に浮かび、改めて感動すると同時に当時31歳でされた演説だったと知って驚きました。気になった方はぜひ調べてみてほしいです！

■JapanWeekイベントでの農業×保健ブース出展



様々な配属先に協力隊がいるのだから、隊員間で連携し組織を跨いでコラボしたら面白いのでは？ということで農業と保健分野の隊員でチームを作りJapanWeekイベントでブースを出展することにしました。

チームの最終目標は、国産の農産物を通じて栄養改善をし農家も消費者もハッピーになろう!! です。

ブータン料理はおいしい反面、塩と油が多いのが特徴で生活習慣病も問題とされています。今回はEat Healthy! Be Cool!をテーマに、健康食材を使った料理を各配属で考案し提供しました。私たちの配属先からは野菜スムージーを提案！生野菜を食べる習慣があまりないので心配でしたが、「シンメ！（おいしい）」と話している声も聞こえ、約300食全て配布できました。省庁の関係者も興味を持ってくれたようで、組織連携に向けても良いスタートとなりました！



花里 さくら

長野県佐久市出身

2022年11月から青年海外協力隊としてブータンに派遣中

任期中にブータン国内の全20県を訪問することがプチ目標